



速く、一步先へ

アジア太平洋地域レポート

アジア太平洋地域のビジネスはSDNの破壊的パワーを有効活用するための取り組みをステップアップする必要があります。

verizon^v

APAC (アジア太平洋) 地域の企業は、急速に変化するグローバル市場で戦い抜くため、迅速にイノベーションを進めなければなりません。そのためには、ネットワークの拡張やサービスの改善を行い、リアルタイムなサービスを提供できる準備が必要となります。このように敏捷性が不可欠であることが、APAC 地域の SDN (ソフトウェア定義ネットワーク) の急速な普及を後押ししています。

APAC 地域にある約 60 社のシニア IT リーダーの視点に基づく本調査は、多数の企業によって SDN の有効性が認識されていることを示唆しています。これらの企業の 90% 以上がビジネスの目標を達成するためにはネットワークが重要または極めて重要であると考えています。

それにもかかわらず、APAC 地域に本社を置く企業は戦いに直面しています。これまでのところ、他の地域の企業と比べて SDN の導入は遅れています。競争力を維持するには、倍の努力が必要になっています。

導入は加速していますが、十分なスピードでしょうか。

すでに、APAC 地域の企業の 3 分の 1 以上 (36%) は、単に SDN 技術のアプリケーションの可能性を検討する段階から、さらに先へと進んでいます。これは、EMEA 地域の企業よりは高い割合ですが、北米企業よりは低くなっています。早期導入企業の約 3 分の 1 はすでに、SDN の試験運用または複数の部署への導入を開始しています。

APAC 地域の導入のペースは加速する見込みです。図 1 は、2 年間で APAC 地域の企業の 32% が SDN の試験運用または複数の部署への導入を予定していることを示しています。さらに 15% は、大部分またはすべての部署および地域に SDN を導入することになると考えています。それにもかかわらず、APAC 地域の企業は EMEA 地域の競合他社に後れをとることになります。

したがって、APAC 地域の組織は、ロールアウト計画に緊急性が欠けていないかどうかを検討しなければなりません。APAC 地域の企業は他の地域の企業と比べて長期間のロールアウト計画を策定する傾向が非常に高く、2 年以内に導入を完了すると予測している APAC 地域の企業は 29% のみ、36% は 3 ~ 5 年の期間を予測しています。

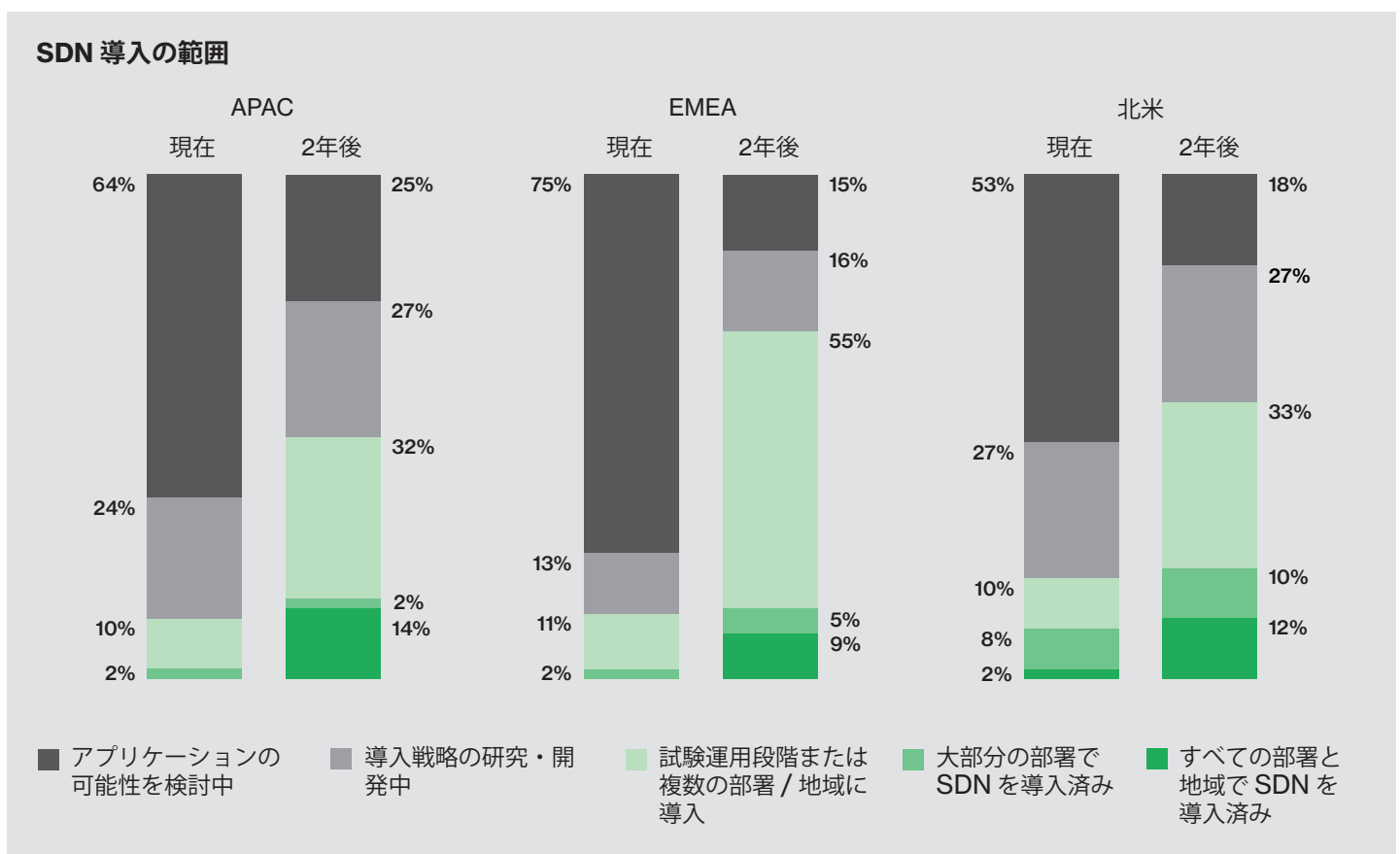


図 1. SDN がどの程度まで導入されていますか。2 年後にはどの程度まで導入されていると予測しますか。

ビジネスの実現

将来の SDN 導入のペースが比較的遅いのは、APAC 地域の企業が変化の必要性を理解していないのではなく、リスクとリソースの課題に直面していることを反映しています。

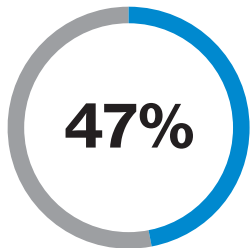
APAC 地域の回答者の約半数 (49%) は、SDN 導入の主な要因として、競争力向上および新たな好機への対応の迅速化を挙げています。ネットワーク機能の拡張、従来のシステムのアップグレード、インフラストラクチャー管理の簡素化を要因として挙げている割合も同程度です (図 2 参照)。

APAC 地域の組織は、ネットワークセキュリティの問題も SDN の導入理由として見ています。約半数 (47%) は、SDN の実装を求める最も重要な要因の 1 つとしてこれを挙げています。

当然のことながら、これらの要因は APAC 地域の組織が SDN に移行した際に得られると期待しているメリットと密接にリンクしています。

ネットワークセキュリティの強化は、APAC 地域の回答者が目標としている主なメリットの 1 つです (53%)。しかし、競争力向上の必要性に的を絞ったメリットも重要です。APAC の企業の半数以上 (54%) は SDN にビジネスの即応性の向上を期待し、47% はネットワーク性能の向上とアプリケーション性能の向上に期待しています。

これらのメリットは、競争が激しく変化の速い今日の市場に不可欠になります。APAC 地域の企業の約 9 割 (88%) は、SDN の導入によって、新しいアプリケーション、サービス、ビジネスモデルへの革新的アプローチが可能になると期待しています。



APAC 地域の回答者の約半数 (47%) は、SDN の実装を求める最も重要な要因の 1 つとして、ネットワークセキュリティを挙げています。

SDN 導入の主な要因

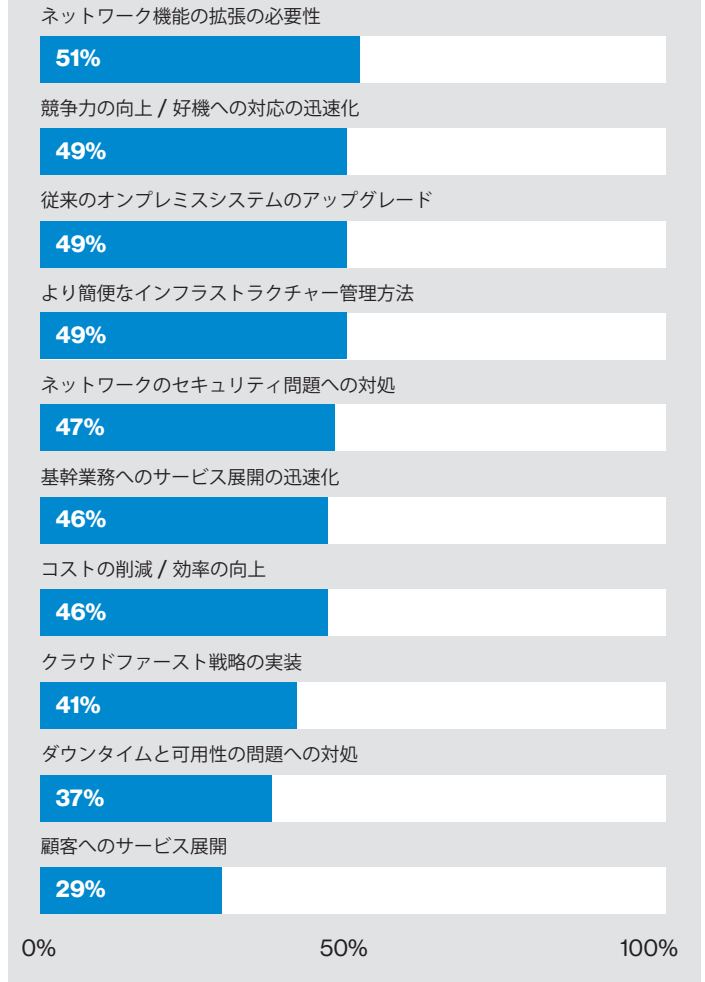


図 2. SDN 導入の主な理由・要因は何になるとお考えですか。

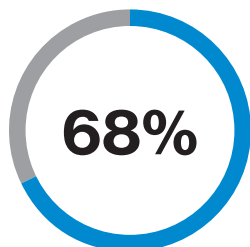
導入への障壁の克服

SDN が必須であることとその潜在的なメリットの価値を考えると、特に本調査が示唆するように他地域の競合他社はより迅速に移行を進めているため、APAC 地域に本社を置く企業が導入のペースをステップアップすることが重要です。

APAC 地域の企業は、SDN のビジネス上の有効性を確立するにあたってより確実な地歩を得ているという利点があります。たとえば、北米や EMEA 地域の企業ほど SDN の継続運用コストを懸念しておらず、EMEA 地域の競合他社ほど首脳陣による技術の理解不足を心配していない傾向があります。

図 3 は、移行の複雑さの管理の方が大きなハードルであることを示しています。APAC 地域の企業の約 3 分の 2 (68%) は、社内 IT チームが移行に対処できるスキルを持たないことを憂慮しています。このような懸念の高さは、66% が SDN への移行中の混乱やダウンタイムの可能性を憂慮しているという事実から明白です。また、APAC 地域の企業はサポートの依頼先に確信を持たずにいます。73% は、適切なベンダーの選択に懸念があると語っています。

APAC 地域の企業は、的確なアドバイスとサポートの調達を最優先しなければなりません。3 分の 1 以上 (36%) は、SDN の計画策定、設計および実装の支援にはグローバルサービスプロバイダーが最適であると考えていますが、ほぼ同数 (34%) はシステムインテグレーターを検討しています。



APAC 地域の企業の約 3 分の 2 (68%) は、社内 IT チームが移行に対処できるスキルを持たないことを憂慮しています。

成長機会を創出

本調査は、APAC 地域の多くの企業が SDN 技術の導入に良いスタートを切った一方で、導入のペースをステップアップする必要があることを示唆しています。SDN の実装が遅すぎる組織は、対応の早い多地域のライバルとの競争力を失うというリスクにさらされます。

APAC 地域の企業は、ネットワークに必要なスピードと規模の拡大をもたらす SDN が重要な成長因子となることを認識しています。そこで、最も懸念されている導入リスクを軽減する方法を検討するにあたり、これらのメリットに着目する必要があります。

導入に必要なスキルを社内では確保できない場合は、専門家によるサポートを利用することができます。専門家のサポートを利用すれば、APAC 地域の企業が SDN に求めている可能性を解放することができるようになります。

SDN 導入の障壁

最も適切な SDN ベンダーの選択

73%

社内の IT 部門に SDN への移行または SDN の管理に対処できるスキルがない

68%

標準規格の変更に伴い投資が無駄になる可能性がある

66%

既存ネットワークから SDN への移行の複雑さ

66%

混乱とダウンタイム

66%

全面導入されたソリューションの事例がない

61%

継続運用コスト

61%

SDN は重要データを扱うのに十分にセキュアではない

56%

首脳陣による技術の理解不足

56%

短期的な実装コストと投資収益率のバランス

54%

0% 50% 100%

図 3. SDN を導入する上で障害となるこれらの考え方に、どの程度同意されますか。

後れをとらないでください

マネージド SD-WAN または NFV がデジタル実装計画をどのように加速させるかを確認しませんか？

以下にお客様の潜在的な投資収益率を計算するオンラインツールを開発いたしました。リンクをクリックして頂き、SD-WAN と NFV からどのようなメリットが得られるかをご覧ください。

[SD WAN ROI 計算ツールを起動](#) >

[NFV ROI 計算ツールを起動](#) >

verizonenterprise.com/jp

© 2018 Verizon. All Rights Reserved. Verizon の名称およびロゴならびに、Verizon の製品およびサービスを識別するためのその他の名称、ロゴ、およびスローガンのすべては、Verizon Trademark Services LLC、あるいは米国またはその他の国における系列会社の商標およびサービスマーク、または登録商標およびサービスマークです。その他の商標およびサービスマークは、各所有者に帰属する資産です。06/18